

神戸大学ウェルビーイング推進本部/ ウェルビーイング先端研究センター のご案内

神戸大学理事
ウェルビーイング推進本部長

木戸 良明

ウェルビーイングって何？

- 世界保健機関憲章（WHO）

“Health is a state of complete **physical, mental and social well-being** and not merely the absence of disease or infirmity.”

健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態（**ウェルビーイング**）であり、単に病気や病弱でないことではない

- SDGs（17の目標の3番目）

Good health and **well-being**. すべての人に健康と**ウェルビーイング**を。

コロナ禍を契機として、教育・ライフスタイル・働き方などを含めて社会のあり方が変わる中で、誰もが**ウェルビーイング**であることの重要性が注目されるようになってきている。

ウェルビーイング実現のため大学は何をすべきか

日本が世界に誇るべきもの

(これまで達成できたもの)

- 平均寿命の長さ
- 乳児死亡率の低さ
- 国民皆保険制度
- 識字率の高さ
- 数学平均点の高さ

日本が世界に誇れないもの

(これから解決すべきもの)

- 幸福度の低さ
- 自殺率の高さ
- 合計特殊出生率の低さ
- 要介護状態年数の長さ
- 収入不平等指数の高さ

矛盾

発送の転換

問題の解決

日本を取り巻く環境の変化や直面する諸問題に対応するには、大学こそが、広い視野でこれからのあるべきウェルビーイングについて考え、総合知をもとに、産官学民の力を連携・協働させて、ウェルビーイングの推進に貢献できるのではないか

なぜ神戸大学か...

- 国際都市神戸において、人文人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命医学系の4学術系列の下に10の学部、15の大学院、1研究所と多数のセンターを有する総合大学で、「異分野共創」が特色である
- 特に、人間発達環境学研究科、保健学研究科、医学研究科、附属初等中等教育機関、地域連携推進本部など、ウェルビーイングと直結する教育・研究・社会活動において豊富な実績と経験をもつ



神戸大学は、ウェルビーイング研究の拠点となり、誰もが心豊かで幸せを実感できる社会の実現に貢献できるポテンシャルをもつ

ウェルビーイング推進本部の設置

学長

ウェルビーイング推進本部

運営委員会

趣旨

- 誰もがウェルビーイングを実現できるような社会の実現に向けたモデルの提案と実証
→“ウェルビーイング神戸モデル”の構築と推進
- 学内外各分野でのウェルビーイングに係る活動を支援・連携することにより、社会全体のウェルビーイングを高める
→“ウェルビーイング異分野共創モデル”の発信

教育部門

【目標】

- ウェルビーイング社会の実現に貢献する学際的人材の育成
- 神戸大学構成員のウェルビーイング実現

研究・社会共創部門

【目標】

- 人の健康と発達の実現とそれを支える環境を異分野共創により総合的に研究
- ウェルビーイングに関するデータベース構築
- ウェルビーイング指標の開発と可視化

地域連携部門

【目標】

- 地域社会をフィールドとしたウェルビーイング促進事業の社会実現
- 地域におけるウェルビーイングに関連する人的・物的資源を活用し地域と交流

各部門は相互連携し、全学を挙げてウェルビーイング実現社会に向けた活動を推進する

構成員対象の教育事業

- 学生・教職員にウェルビーイング教育を提供
- ウェルビーイングに関連する共通教育やFD等を開催
- 全学的な教育システムの構築

ウェルビーイング先端研究の推進

- ウェルビーイング先端研究センターを研究活動の拠点とする
- 全学のウェルビーイング関連研究のまとめ
- 異分野共創の新たな研究を創出
- 種々の施策に実装する方策・効果を検討

地域社会への貢献

- ウェルビーイングを通して地域社会と連携し、地域の課題の解決を図る
- 産・官・民・金融・医療機関・教育機関・国際機関との連携を強化
- 地域を活性化する地域連携事業の推進

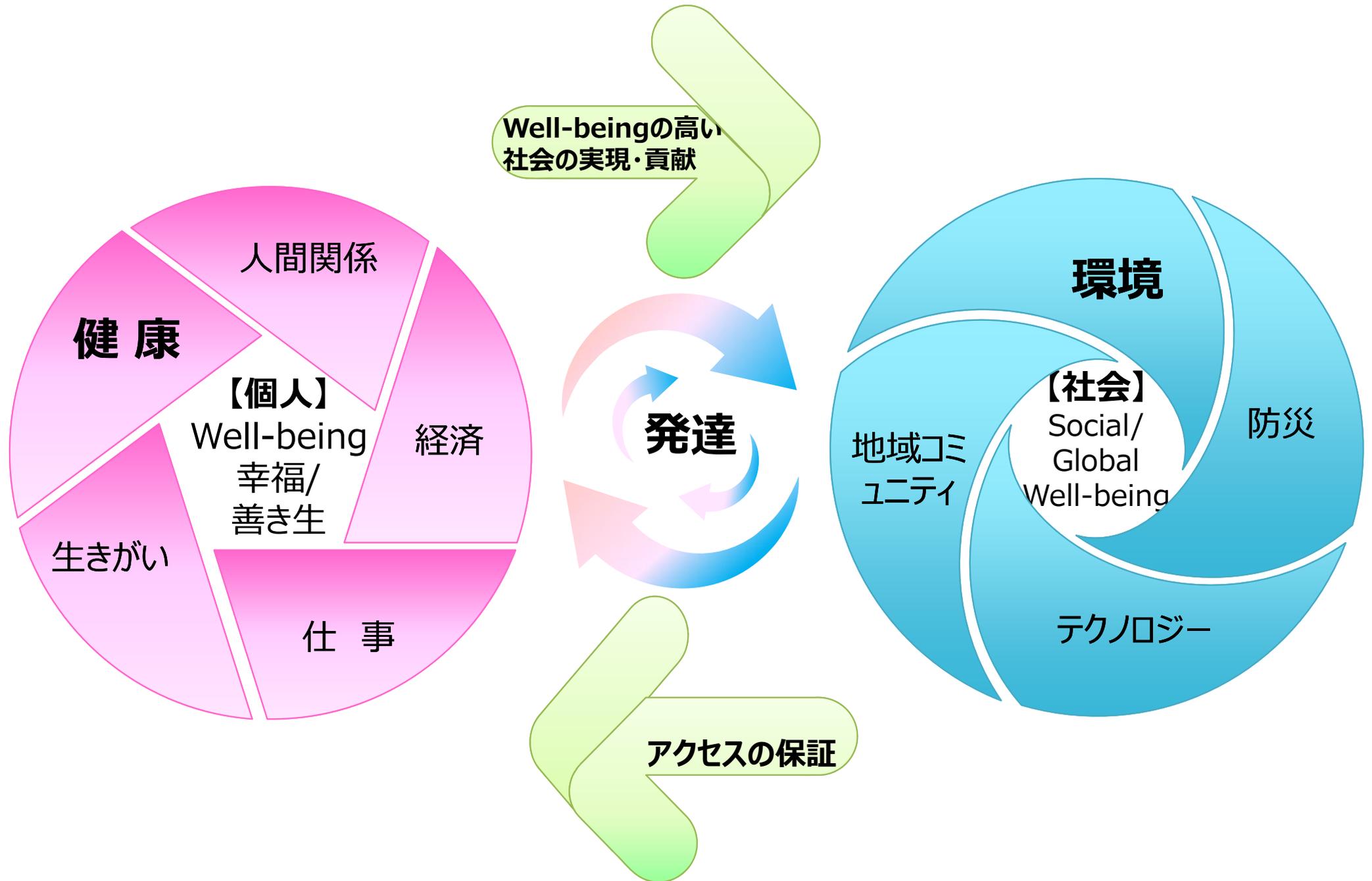
異分野共創によりウェルビーイングを実現し、持続可能な社会をリードする

研究・社会共創部門

- 人間のウェルビーイングをいかに実現するかについて、個人だけでなく、社会との関連から、科学的エビデンスをもとに検討し、提案する。
 - 1) 生まれてから死ぬまでの**生涯にわたるウェルビーイング**はいかにあるべきか
 - 2) ウェルビーイングを実現を支える**外部要因（環境や社会システムなど）**をあきらかにする
 - 3) 人間と社会や環境がともに影響しあい、**人間のウェルビーイングと社会のウェルビーイングをともに実現**するための方策を検討し、提案する
- 上記の目的を果たすため、総合大学の強みを生かし、あらゆる研究領域の英知を集め、ウェルビーイングの実現に資する研究を統合し、新しい学問領域を設立し、発展させる
- 人間と社会のウェルビーイングの実現を図るため、産官民学が協働し、社会実装を図り、同時に社会実装の効果を検討する。
- 研究や社会実装の結果を国内のみならず、海外にも発信し、ウェルビーイング研究のハブとなることを目指す

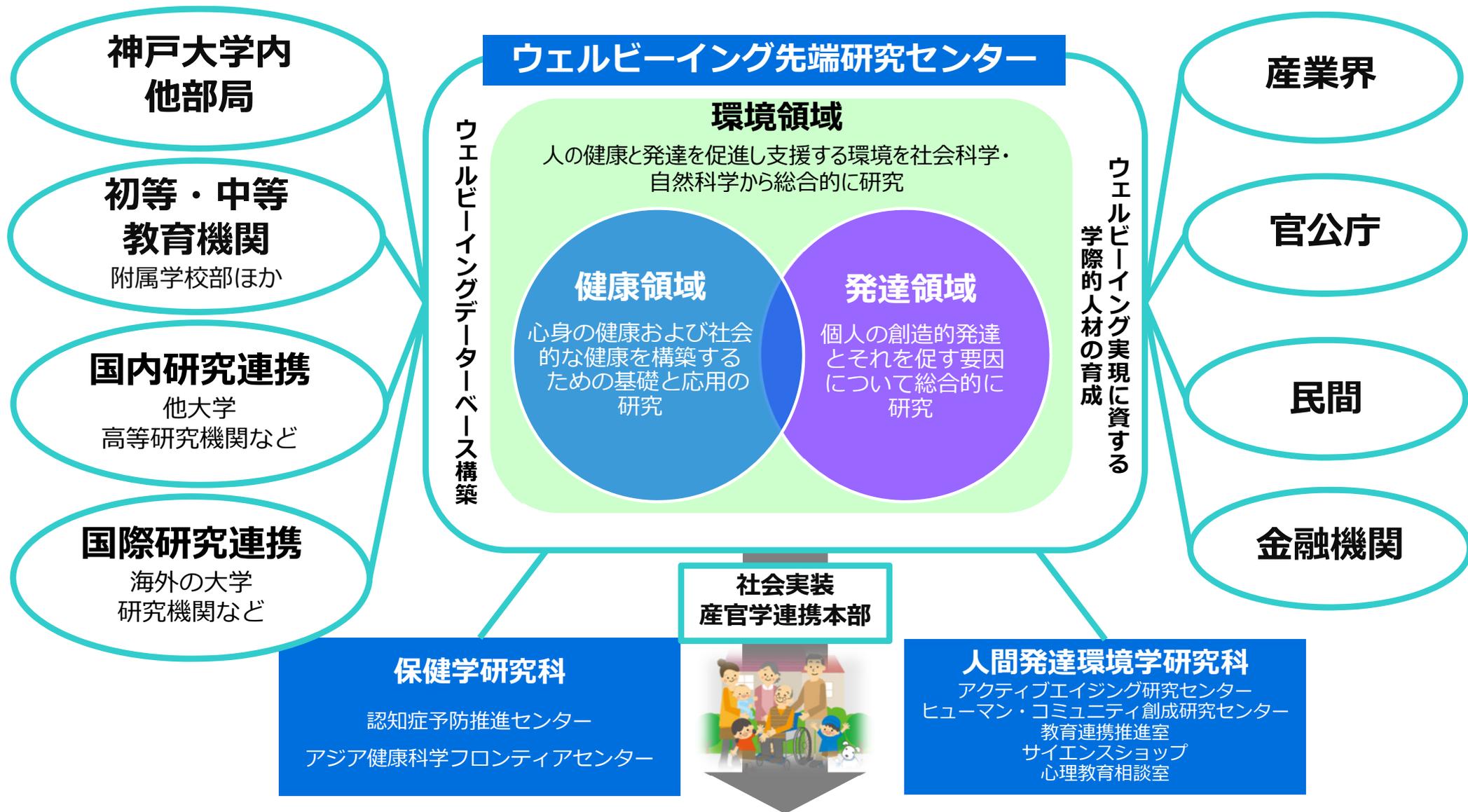
研究活動拠点：**ウェルビーイング先端研究センター**（新設）

ウェルビーイング先端研究センター Vision



ウェルビーイング先端研究センター

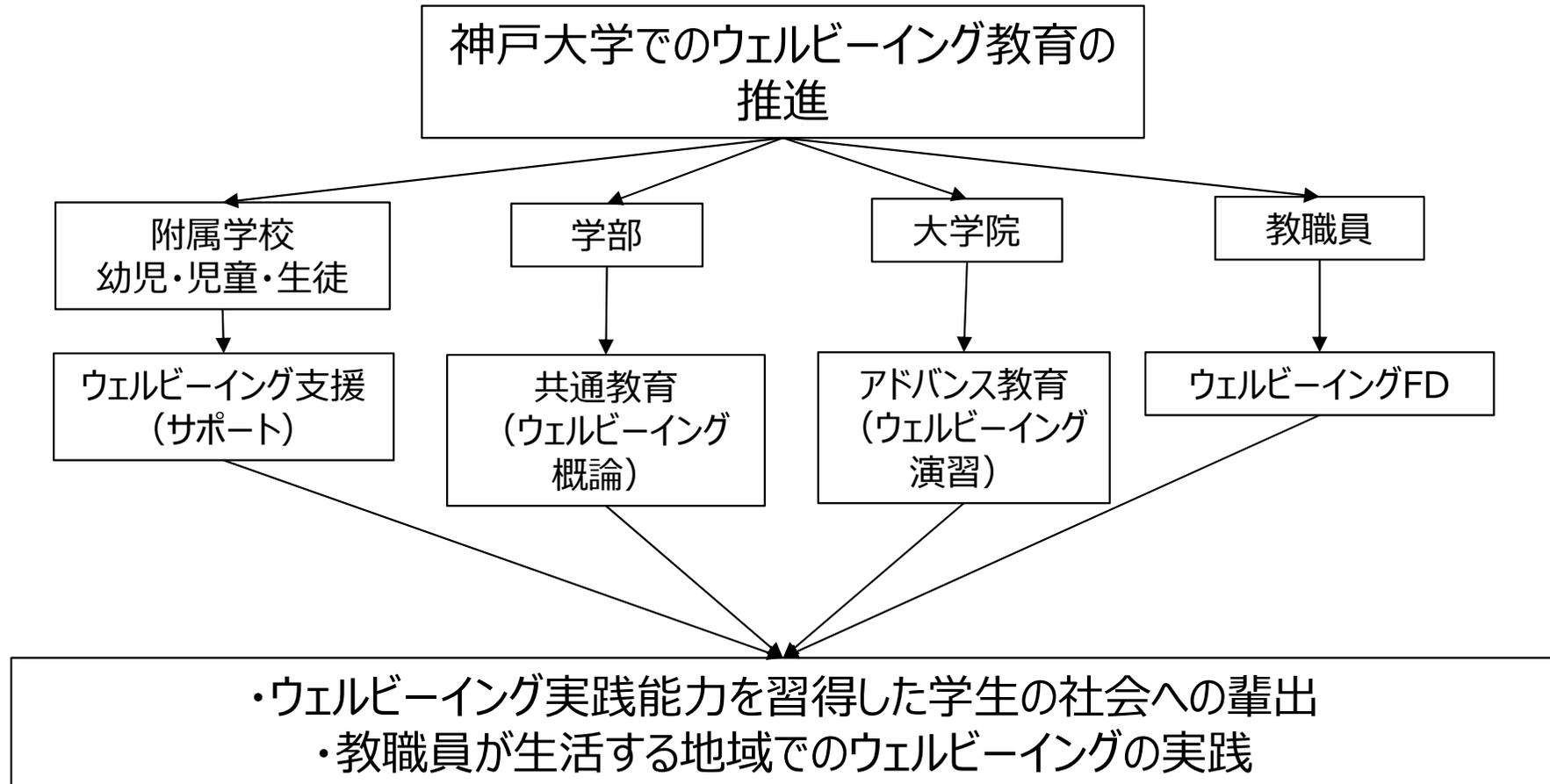
【ミッション】 少子・超高齢化，貧困格差，新型コロナウイルスのパンデミック，紛争や自然災害による劇的な環境の変化においても，持続可能な社会を築き、生涯にわたるウェルビーイングを実現することは最重要課題。その実現には，人を総合的に捉え，環境との相互作用を考慮することが不可欠であり，学際的な視点が必要。人生100年時代のいずれのステージにおいても，疾病や障害の有無に関係なく，心豊かで幸せを実感できる社会の実現を目指す。



【目標】 生物学的・生理学的知見を基盤とした健康・医科学に，発達科学，環境科学を融合し，エビデンスに基づいた異分野共創のアクションを産官民金と連携して実施し，持続可能なウェルビーイング・心豊かで幸せを実感できる社会を実現

ウェルビーイング推進本部
教育部門

ウェルビーイング社会の実現に貢献する人材育成と神戸大学構成員のウェルビーイングを目指す



大学・社会でのウェルビーイング推進を通して、持続可能なウェルビーイング・心豊かで幸せを実感できる社会を実現する

ウェルビーイング推進本部
地域連携部門

地域社会をフィールドとしたウェルビーイングの社会実現

- 保健学研究科、農学研究科、人文学研究科、国際文化学研究科、海事科学研究科に地域連携センターが設置されており、多彩な地域連携事業の実績がある

連携強化 ↓ 発展

- ウェルビーイングの観点から地域を活性化する地域連携事業の推進
- ウェルビーイングに関連する人的資源・物的資源を活用して地域と交流・連携
- 産・官・民・金融・医療機関・教育機関・国際機関との連携を強化

社会実装 ↓ 地域貢献

- ウェルビーイングの観点から地域が抱える課題の解決を図り、地域住民のウェルビーイング達成に貢献する

まとめ

- 神戸大学は、ウェルビーイング推進本部・ウェルビーイング先端研究センターを設置します
- 推進本部は、研究・地域共創、教育、地域連携の3部門を設置し、各学部・研究科で行われるウェルビーイング関連研究を横断的に支援し連携を強化します
- 先端研究センターでは、健康、発達、環境の3領域において、最先端の研究を行い、国内外に向けて情報発信します
- 学外の学術機関および産・官・民・金との連携や 共同研究を進め、研究・教育を充実させます
- その成果を地域社会・地域住民のウェルビーイング達成のために活かします

世界トップレベルのウェルビーイング推進拠点を目指します